

| 達成度 | | 方向性 | |
|-----|------------------------------|-----|-----------|
| A | 目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた | A | 拡大(新規含む) |
| B | 目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた | B | 継続 |
| C | あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している | C | 縮小(終了も含む) |
| D | 未着手もしくはほとんど達成できなかった | | |

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

| 施策 | No. | 計画掲載頁 | 施策の内容 | 所管・関連部署 | 事業名 | 事業の概要 | 平成30年度の事業実績 | | 平成30年度の目標達成度 | | 令和元年度の事業の方向性 | |
|-----------------|-----|-------|--------------------|---------|---------------------------------|---|--|---|--|--------|---|--------|
| | | | | | | | 内容(複数ある場合は分けて記入してください) | | 達成度 | 達成度の理由 | 方向性 | 方向性の理由 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 2 地域での 取組 | 4 | 12 | (2)公民館での子ども読書活動の推進 | 常盤公民館 | ともだち文庫 | 読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、お絵かき、工作などを行う。 | ともだち文庫のボランティア(世話人)が幼児から小学生までを対象に、読み聞かせと工作・おりがみ・科学あそびなどを行った。平成30年度は37回実施し、延べ512人が参加した。 | B | 館報の掲載やチラシを配布したことにより、参加者を順調に集めることができた。また、活動日以外にも、本を借りに来る子どもたちがおり、読書活動の推進を図ることができた。 | B | 前年度と同様に、ボランティア(世話人会)と協力して、多くの子どもたちが「ともだち文庫」に参加するよう、読み聞かせ・工作・折り紙・科学あそびを行う。 | |
| | | | | 南箇公民館 | コスモス文庫 | 読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、お絵かき、工作などを行う。 | 地域のミニ図書館として幼児や小学生に本を貸し出すだけでなく、文化祭では工作を教えるなどボランティアが熱心に活動してくれた。そのおかげで子どもたちが読書や工作を通じて成長していったように思われる。平成30年度は年42回実施し、延べ723人が参加した。 | B | 館報への掲載やチラシを対象地域に配布したことにより、参加者もほぼ順調に集まり、読書活動の推進を図ることができた。 | B | ボランティア(世話人会)と協力して、多くの子どもたちが「コスモス文庫」に参加するよう、読み聞かせと併せて、工作・科学遊び・折り紙を行う。また、季節毎に実施している「たなばたまつり」・「コスモス祭」も内容を工夫しながら継続していく。 | |
| | | | | 谷田公民館 | のびのび文庫 | 本の貸出し、読み聞かせ、工作教室等を通じて、地域の子どもの情操を育て、健全な育成を支援する。 | 読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、ことば遊び、工作などを行った。40回実施し、延べ参加人数は392人であった。 | B | 台風などの悪天候や近隣小学校の行事が重なったことなどから、延べ参加人数は例年より、減少した。しかしながら、制作した手作りの工作や絵を公民館のロビーに掲示しており、季節を感じられる作品が公民館の利用者に喜ばれているため。 | B | 地域の子どもの情操を育て、健全な育成を支援するため、前年度と同様の内容及び同程度の開催頻度で、引き続き事業を実施する。 | |
| | | | | 別所公民館 | すぎのこ文庫 | 地域の子どもの健やかな成長を願い、絵本や図鑑など児童図書の貸出し、ボランティアの指導による簡単な工作「楽しい工作」を実施する。 | 開庫は年間24回、工作は年間12回実施し、延べ利用冊数は994冊、延べ参加人数は382人であった。 | B | ボランティアの高齢化のため、開庫日数が前年の48回から24回に減ったことで利用数も半減すると思われたが、延べ利用冊数は前年度の757冊から237冊増となった。このことから、開庫日数が減っても、2週間に1度の開庫を楽しみにしている利用者がいることがうかがえた。また、返却については公民館窓口で随時受け付けているため、利用しやすいという点もあると思われる。 | B | 一定の利用者がいるため、前年度と同様の内容及び同程度の開催日数で、引き続き事業を実施していく。 | |
| | | | | 東浦和公民館 | にこにこ文庫 | 本の貸出し、読み聞かせ、本の紹介、わらべ歌・手遊びの指導、工作などを行う。 | 子ども文庫スタッフによる本の貸出し、読み聞かせ、手遊び、工作などを行った。季節行事を5回実施し、延べ参加人数は186人であった。また、親と子のつどいを18回実施し、延べ参加人数は349人であった。 | B | チラシの配布や公民館だよりの掲載を行った。また、製作する手作り工作物を公民館内に飾り付けた。 | B | 親子で本の読み聞かせや手遊びなどに参加ができるよう、今年度も引き続き実施していく。 | |
| | | | | 大古里公民館 | みむろ文庫 | 公民館グループ「みむろ文庫」による本の貸出しと読み聞かせ、工作などを行う。 | 幼児と保護者・小学生を対象に全47回にわたって開催した。延べ参加者数は550人だった。 | B | 毎週一定数の幼稚園児・小学生に利用してもらうことができたが、昨年度より参加者数が減少した。ただ、工作とともに参加者には好評で、「読書の推進」だけではなく、「子どもの居場所を提供する」という意味でも大切な役割を果たした。 | B | 「子どもの居場所づくり」、「読書の重要性」に重きを置き、より多くの方に参加していただけるようPR等に努める。 | |
| | | | | 尾間木公民館 | ひだまり文庫 | 公民館グループ「ひだまり文庫」による本の貸出しと「読み聴かせ」や工作などを行う。 | 小学生、乳幼児の親子を対象に、4月から3月まで18回実施した。延べ参加者数は492人だった。 | B | 乳幼児の親子の参加が増えているため、「読み聴かせ」の大切さなども内容に取り入れたので参加者には好評で、子育て世代の交流の場として定着してきたため。 | B | リピーターを更に増やし、「読み聴かせ」の大切さを重点に置いて、実施していく。 | |
| | | | | 本太公民館 | ぶんぶん文庫 | 本太公民館グループ「ぶんぶん文庫」による小学生を対象にした、本の貸出し、読み聞かせ、工作、季節行事等(月2回程度)を行う。 | 毎月第2・4木曜日に本の貸し出しや工作、ゲームを行った。参加者も多く好評だった。平成30年度は年19回実施し、延べ参加人数は1,525人だった。 | B | チラシの小学校への配布、公民館だよりの掲載等を行った。 | B | 好評なため今年度も引き続き継続する。 | |
| | | | | 栄和公民館 | ハッピー子育てサロン | さいたま市よい本を読む運動推進委員会員の協力による乳幼児向けの本の紹介及び読み聞かせを行う。 | 年間7回開催した「ハッピー子育てサロン」のうち、3回でさいたま市よい本を読む運動推進委員会会員による絵本の読み聞かせ・紙芝居等を実施し、延べ59人が参加した。 | B | チラシの配布や、館報への掲載により、昨年度実績(4回実施延べ60人参加)より少ない実施回数で、ほぼ同数の参加者数となったため。 | C | 近隣の図書館や子育て支援センターでも同様の事業を開催しており、参加者が重なるため、サロン内の読み聞かせの回数だけでなく、サロンの回数の削減も検討する。サロンを削減する場合には、参加者数が維持できる方法を検討する。 | |
| | | | | 岸町公民館 | 親子おはなし会「おはなし玉手箱」 | 小学生・幼児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせ、紙芝居、おりがみ工作等を行う。 | さいたま市よい本を読む運動推進委員会のメンバーが月1回(8月、2月を除く)絵本の読み聞かせ、紙芝居、おりがみ工作等を行った。平成30年度は年10回実施し、延べ99人参加した。 | B | チラシを幼稚園、保育園、小学校の低学年を対象に配布し、「岸町公民館だより」にも掲載したことにより、参加者も順調に集まり、事業が実施でき、読書活動の推進を図ることができた。 | B | 今年度も引き続き実施する。さらに参加人数の増加を図るため、今後も広く周知する予定。読書に親しみ、おはなしや工作を通じて、地域の方がふれあいを持てる貴重な機会なので気軽に参加できる工夫をしていく。 | |
| | | | | 浦和南公民館 | 南Happy子育てライフ前期・春「読み聞かせ・手遊び・折り紙」 | 1歳から4歳までの幼児と保護者を対象に読み聞かせ手遊びなどを行う。 | 5回連続の子育て講座の中の一つとして、さいたま市よい本を読む運動推進委員会の会員を講師に絵本の読み聞かせ、手遊び、簡単な工作を行った。7組の親子延べ14人が参加した。 | B | 館報への掲載やチラシを対象年齢の公民館活動グループ、保育園、子育て施設に配布したことにより、参加者もほぼ順調に集まり、読書活動の推進を図ることができた。 | B | さいたま市よい本を読む運動推進委員会の読み聞かせが好評なので今年度も引き続き実施する。 | |
| | | | | | 夏休み子どもわくわくランド「ほんらんど」 | 小学生を対象とした絵本の読み聞かせ、紙芝居、簡単な工作を行う。 | 「おはなしグループののほな」による、絵本の読み聞かせ、紙芝居、工作などを行った。21人が参加した。 | B | 小学校へのチラシの配布、公民館だよりの掲載を行った。熱心に耳を傾ける姿もみられ、読書活動の推進を図ることができた。 | B | 「おはなしグループののほな」による映像や手遊びを交えたおはなし会が好評なので今年度も引き続き実施する。 | |
| | | | | 六辻公民館 | おはなしのへや | 「のほな」の皆さんによる、絵本の読み聞かせ、手遊び、簡単な工作などをしながら、親子や参加者同士のふれあいの場を提供する。 | 乳幼児の親子を対象に5月から2月まで8回実施した。延べ参加者数は208人であった。 | B | ゆっくりした話し方や声の抑揚など子どもが集中して聞けるよう配慮されていることや、工作についても子どもが作りやすく興味を示す内容であることなどから、アンケート結果(内容、教材、講師の項目)で全て満足と回答があり、子育て世代の交流の場として定着してきている。 | B | 風邪などの流行する時期を避けるため、開催回数を1回減らすこととするが、内容はそのまま継続する。 | |

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表(公民館)

| 達成度 | | 方向性 | |
|-----|------------------------------|-----|-----------|
| A | 目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた | A | 拡大(新規含む) |
| B | 目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた | B | 継続 |
| C | あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している | C | 縮小(終了も含む) |
| D | 未着手もしくはほとんど達成できなかった | | |

3つの基本方針
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

| 施策 | No. | 計画掲載頁 | 施策の内容 | 所管・関連部署 | 事業名 | 事業の概要 | 平成30年度の事業実績 | | 平成30年度の目標達成度 | | 令和元年度の事業の方向性 | |
|----|-----|-------|-----------|---------|---|--|---|---|--|---|---|--------|
| | | | | | | | 内容(複数ある場合は分けて記入してください) | | 達成度 | 達成度の理由 | 方向性 | 方向性の理由 |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 針ヶ谷公民館 | ママといっしょにワクワクおはなし会 | 読書ボランティアによる本の読み聞かせを行う。 | 「音と絵本のお話会」による、絵本の読み聞かせを行った。12組の親子延べ23人が参加した。 | B | 館報への掲載やチラシを対象年齢の公民館活動グループに配布したことにより、参加者も順調に集まり、子どもの読書活動の推進を図ることができた。 | B | 今年度も引き続き実施する。参加人数の増加を図るため、より一層広く周知するようにしたい。 | |
| | | | | 日進公民館 | 絵本の読み聞かせ | 本との出会いにより感情や情緒を育むため、乳幼児とその親を対象に、図書館職員による読み聞かせや手遊びなどを行う。 | 乳幼児とその親を対象とした読み聞かせや手遊び | B | 参加者アンケートの満足度(満足・やや満足の合計)が100%であったため | B | 昨年度と同様、図書館の協力により年1回実施する。 | |
| | | | | 大宮南公民館 | ふれひよこ学級1 | 図書館職員による読み聞かせ・手遊び・紙芝居等を行う。 | 本の読み聞かせと手遊びの実施 ファーストサインとリズム遊び | B | 定員12組のところ、9組の申し込みがあり好評であった。 | B | 参加者に好評のため、他の講座と組み合わせで継続。 | |
| | | | | 土合公民館 | 遊びと絵本のつどい | 絵本の読み聞かせなどから、本に親しみ、簡単な工作を通して交流する | 5月・7月・10月・3月の土曜日、乳幼児とその保護者、小学生を対象に開催した。参加のべ人数は40人。また、文化祭にも参加した。 | C | 土曜日の開催で夫婦参加も何組か毎回あるが、全体的に参加者は少ない傾向にあったため。幼児向けであるので、小学生の参加はなかった。 | B | 今年度も引き続き実施し、参加者数が増加するように周知方法を検討する。 | |
| | | | なかよし文庫サロン | | なかよし文庫と連動して絵本の読み聞かせ・わらべ歌・人形劇・ミニコンサートなどを行い、講座後は地域の交流の場とする。 | 5月・6月・9月・12月(2回)の計5回、乳幼児とその保護者を対象に事業を実施した。参加延べ人数は、84人だった。 | C | 講師によって、参加者の増減があり、コンスタントに参加者がなく、平均20組参加予定のところ、10組ほどとなったため。 | C | 同様の講座を開催していること、さらに、同じ日に文庫を開庫しているため、今年度は事業数の廃止を検討する。 | | |
| | | | なかよし文庫 | | 地域のボランティアが週1回、絵本・児童図書等の貸出しを行い、読書推進を行う。 | ほぼ毎週木曜日(祝日・年末年始を除く)45回の貸出しを行い、1,896人の利用者があり、その他、事務室貸出し122人あり、合わせて2,018人、4,319冊の利用があった。 | A | 利用者増を狙い、チラシを作成し地域の学校・幼稚園などに配布したところ、大幅な利用者増に繋がったため。 | A | 昨年末から続いている、利用者の増加を今後も目指す。利用者減の場合、チラシを配布する。 | | |
| | | | | 大宮東公民館 | おはなしひろば | 子育て支援のためのボランティアによるお話会 | 読み聞かせボランティアによる読み聞かせ等 | B | 参加人数が増加し、内容も好評だった。 | B | 参加者に好評のため、継続。 | |
| | | | | 田島公民館 | おひさま文庫 | 子どもの読書活動の機会を増やすため、絵本や児童書の貸出しを行う。また、季節の行事や簡単な工作なども行う。 | 原則、毎月第2・4土曜日に合計24回実施し、延べ1,208人の利用があった。 | A | 前年度を上回る利用人数となったため。 | B | 今年度も公民館だよりなどでの広報を継続して行い、利用者数の維持を目指す。 | |

※上記以外に、子ども読書に関する事業の実施がある場合は、下の行に追記してください。

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---------------------|---------|--|--|--------------------------|---|------------------------------|---|--------------------------------|
| | | | | 大宮南公民館 | ふれひよこ学級2 | 図書館職員による読み聞かせ・手遊び・紙芝居等を行う。2回目はベビーダンスを行う。 | 本の読み聞かせと手遊びの実施 ベビーダンス | B | 定員12組のところ、14組の申し込みがあり好評であった。 | B | 参加者に好評のため、他の講座と組み合わせで継続。 |
| | | | | 岩槻本丸公民館 | 夏休み「絵本のひろば」 | 本との出会いにより感情や情緒を育むため、幼児とその親を対象に、読み聞かせサークル「おはなしポケット」による読み聞かせを行う。 | | | | A | 令和元年度に新規で実施し、受付枠の過半数の参加者数を目指す。 |
| | | | | 岩槻本町公民館 | 夏休み子ども公民館「読書感想文を書こう！」 | 岩槻図書館との共催事業として、小学生を対象に、夏休みの宿題である読書感想文の「本の選び方」や「感想文の書き方」について図書館司書から学ぶ講座を実施する。 | | | | A | 令和元年度に新規で実施し、受付枠の過半数の参加者数を目指す。 |
| | | | 親の学習事業「親子で絵本を楽しもう！」 | | 岩槻図書館との共催事業として、未就園児の子と保護者を対象に、絵本の魅力について親の学習プログラムによるワークショップ及び親子参加のおはなし会を実施する。 | | | | | A | 令和元年度に新規で実施し、受付枠の過半数の参加者数を目指す。 |
| | | | いちごサロンおはなし会 | | 岩槻図書館との共催事業として、毎月、親子対象のおはなし会及び子育て中の親同士の交流の場としてあかちゃんサロンを実施する。 | | | | | A | 令和元年度に新規で実施し、受付枠の過半数の参加者数を目指す。 |